

令和6年度の農家巡回計画

新体制となって、2ヶ月弱が経過しました。高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の伝染病発生予防、また発生した際のまん延防止のため、今年度も以下の通り農家巡回を実施する予定です。これ以外にも牛では繁殖

検診・衛生指導、豚では豚熱ワクチン接種、馬では着地検疫等を随時実施しております。ご多忙の折恐縮ではありますが、生産者・関係者各位のご理解、ご協力の程、よろしくお願いたします。(中山)

畜種	巡回内容	巡回時期
牛	ヨーネ病（5条）検査	4月～6月、9月～10月
	アルボウイルス感染症発生予察	6月、8月、9月、11月
	定期巡回（飼養衛生管理基準確認等）	随時
豚	定期巡回（飼養衛生管理基準確認等）	4月～9月
鶏等	高病原性鳥インフルエンザおよび低病原性鳥インフルエンザ浸潤状況確認	定点モニタリング：月1回 強化モニタリング：10月～11月
	定期巡回（飼養衛生管理基準確認等）	4月～6月、10月～11月
馬	定期巡回（飼養衛生管理基準確認、着地検疫等）	随時
めん山羊	定期巡回（飼養衛生管理基準確認等）	随時

今後の通信衛星の発行について

これまで本誌通信衛星をご愛読いただきありがとうございます。冒頭の所長あいさつにありますように、平成3年9月から33年をかけて今号において100号を迎えました。その間、様々な情報伝達手段ができ、インターネットを使った情報伝達も一般的なものとなりました。

そこで、本誌においても、紙媒体での発行のあり方を見直していきたいと考えています。紙媒体での発送は、今号をもって終了し、今後は、家畜保健衛生所ホームページやLINEなどのSNS（ソーシャル・ネットワークサービス）を利用して、畜産に関する情報をよりリアルタイムに紹介していきたいと

考え、準備を進めています。

準備が整いましたら、改めて皆様にお知らせさせていただきます。

これまでの長きにわたり、通信衛星への情報提供にご協力いただきました生産者や畜産関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

今後も、皆様に親しみやすい情報提供に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



(小森)